

広上淳一×京都が育んだ精鋭たち!
~艶なる祭典&遍歴の騎士物語「ドン・キホーテ」~

2011 午後7時開演
(午後6時開場) **京都コンサートホール**
Friday, August 5th, 2011 / 7:00 p.m.
8/5 金 **Kyoto Concert Hall**
京都市営地下鉄烏丸線「北山」駅下車、出口1番から南へ徒歩約5分

ドヴォルザーク:序曲「謝肉祭」op.92
レスピーギ:交響詩「ローマの祭り」
R.シュトラウス:交響詩「ドン・キホーテ」op.35

Dvořák: "Carnival" overture op.92
Respighi: "Roman festivals" symphonic poem
R. Strauss: "Don Quixote" symphonic poem op.35

指揮 広上 淳一 (常任指揮者)
Conductor: Junichi HIROKAMI (Chief Conductor)

チェロ 上村 昇 (京響ソロ首席チェロ奏者)
Cello: Noboru KAMIMURA (Solo Cello of KSO)

ヴィオラ 店村 真積
Viola: Mazumi TANAMURA

開演前(午後6時40分ごろから)は指揮者による「プレトーク」でお楽しみください。「プレトーク」はホールステージ上にて開催します。

入場料 S¥4,500 A¥4,000 B¥3,500 P¥2,000 (舞台後方席)

京都市交響楽団

第549回定期演奏会

The 549th Subscription Concert of the Kyoto Symphony Orchestra



- ◆プレイガイド・京都コンサートホール(075)711-3090(ホームページからオンラインチケット購入もできます)
・電子チケットびあ(0570)02-9999 [Pコード124-983]・ローンチケット(0570)000-407 [Lコード52806]
- ◆当日残席がある場合のみ発売:学生券&後半券 S¥2,000 A¥1,500 B¥1,000
※学生券は開演1時間前から(学生証をご提示ください)。
後半券は開演後から休憩終了(後半開始)まで発売(学生券は、席種は選べますが、座席指定はできません)
- ◆10枚以上のチケットお申し込みには団体割引(10%OFF)があります! 京響(075-711-3110)までお問い合わせください。
- ◎お問い合わせ:京都コンサートホール(075)711-3090・京都市交響楽団(075)711-3110
- ◎ホームページ: <http://www.kyoto-ongeibun.jp/kyotoconcerthall/> (京都コンサートホール)
<http://www.kyoto-symphony.jp/> (京都市交響楽団)

助成: アフィニス文化財団



関西から
文化力
POWER OF CULTURE



- ◎未就学のお子様のご入場はお断りいたします。
1歳以上未就学のお子様は「託児ルーム」(有料/定員あり・10名/要予約)をご利用下さい。
(お子様お1人につき1,000円/1週間前までに京響075-711-3110へお申し込みください)
- ◎都合により曲目、出演者等が変更となる場合がございます。

助成: 公益財団法人 **ロームミュージックファンデーション**
Support: **Rohm Music Foundation**

平成23年度文化芸術振興費補助金
(トップレベルの舞台芸術創造事業)

ロームミュージックファンデーションは、日本のプロ・オーケストラの活動を支援しています。
このコンサートの演奏曲目によるCDの発行を助成しています。

主催: 財団法人京都市音楽芸術文化振興財団 京都市 協賛: **ローム株式会社** 協力: 株式会社ドルチェ楽器 後援: (株)エフエム京都
発行: 財団法人京都市音楽芸術文化振興財団

美しいひびき、感動にみちた
音楽との出会いをお届けします。

Rohm Music
Foundation
ロームミュージックファンデーション



京都市交響楽団 第549回定期演奏会

The 549th Subscription Concert of the Kyoto Symphony Orchestra

広上淳一指揮による真夏にぴったりの熱きプログラム。

祭りにちなんだ陽気で色彩豊かな2作品に続き、

京都に学び日本の音楽界をリードする京響ソロ首席チェロ奏者・上村昇と、

NHK響ソロ首席で京都出身のヴィオラ奏者・店村眞積をソリストに迎えた究極の「ドン・キホーテ」をお楽しみに!



Photo: Greg Sailor

指揮 広上 淳一(常任指揮者) Conductor: Junichi HIROKAMI (Chief Conductor)

東京生まれ。東京音大指揮科に学ぶ。1984年、26歳で「第1回キリル・コンドラシン国際青年指揮者コンクール」に優勝。以来、フランス国立管、ベルリン放響、コンセルト・ボウ管、モントリオール響、イスラエル・フィルハーモニー管、ロンドン響、ウィーン響などメジャー・オーケストラへの客演を展開。91～95年にはノールシヨピング交響楽団、98～2000年にリンブルク交響楽団の各首席指揮者を、97～2001年 ロイヤル・リヴァプール・フィルハーモニー管弦楽団首席客演指揮者、91～2000年には日本フィルハーモニー交響楽団の正指揮者を歴任している。近年では、ヴァンクーヴァー響、ミラノ・ジュゼッペ・ヴェルディ響、サンクトペテルブルク・フィルハーモニー響、ポルティモア響、シンシナティ響、カルガリー・フィルハーモニック、スタヴァンゲル響、ライプツィヒ・ゲヴァントハウス管、ポーランド放響、スロヴェニア・フィルハーモニー管、サン・パウロ響等へ客演。06～08年には米国コロンバス交響楽団音楽監督を務めヨーヨー・マ、ミドリをはじめ素晴らしいソリストたちとともに数々の名演を残した。07年夏にはサイトウ・キネン・フェスティバル松本に招聘され、ハイドンとラフマニノフ。08年5月には小澤征爾の代役として急遽、水戸室内管弦楽団の指揮台に立ち、モーツァルト、ベートーヴェンほかのプログラムとともに絶賛を博した。オペラ指揮の分野でも89、90年のシドニー歌劇場におけるヴェルディの《仮面舞踏会》や《リゴレット》が高く評価されたのははじめ、最近では日生劇場《オルフェオとエウリディーチェ》等が記憶に新しい。11年2月には「椿姫」で新国立劇場へデビュー。また、多忙な指揮活動と並行して、母校東京音楽大学教授としても後進の育成に情熱を注いでいる。08年4月から京都市交響楽団常任指揮者。



チェロ 上村 昇(京響ソロ首席チェロ奏者) Cello: Noboru KAMIMURA (Solo Cello of KSO)

1975年、京都市立芸術大学卒業。黒沼俊夫氏に師事。1976年、第23回文化放送音楽賞受賞。第46回日本音楽コンクール第1位入賞。1979年、京都・東京においてデビュー・リサイタルを行う。ジュリアード音楽院のハーヴィー・シャピロに師事。第6回カサド国際チェロ・コンクール第1位。ジュネーヴにてピエール・フルニエに師事するかわら、スイス、イタリア、フランスの諸都市で活躍。1981年帰国。リサイタル、協奏曲、室内楽に本格的な演奏活動を開始する。1983年、第1回京都府文化賞新人賞受賞。東京・京都において「パッサ・無伴奏チェロ組曲全曲演奏会」を開催。1991年、ノイマン指揮チェコ・フィルと、ドヴォルザークのチェロ協奏曲を共演。1993年、プラハ交響楽団とドヴォルザークのチェロ協奏曲を共演。1998年ABC国際音楽賞受賞。同年、京都府民ホール・アルティの開館10周年を記念しアルティ弦楽四重奏団を結成。2001年、第19回京都府文化賞功労賞受賞。この間、NHK交響楽団はじめ、国内の多くのオーケストラからソリストとして招かれ共演している。又、各地でのリサイタルの他、室内楽の分野においても、多彩な活動を行い、国内外の著名なアーティストたちからの信頼も厚い。CDは「パッサ・無伴奏チェロ組曲(全曲)」、チェロ小品集のCD「ノータイトル」(ピアノ・ヤン・パネンカ)「ブラームス/チェロソナタ」等をリリースしている。現在、母校の京都市立芸術大学教授、桐朋学園大学特任教授として後進の指導にもあたっている。



©竹原伸治

ヴィオラ 店村 眞積 Viola: Mazumi TANAMURA

京都に生まれる。6歳よりヴァイオリンを始め、東儀祐二、鷺見三郎、江藤俊哉の諸氏に師事。学生コンクール、日本音楽コンクールなど受賞歴を重ね、桐朋学園大学を経て、1976年イタリアに渡り、イタリア弦楽四重奏団のヴィオラ奏者であったピエロ・ファルツリ氏に師事。その後、指揮者リッカルド・ムーティ氏に認められ、フィレンツェ市立歌劇場(オーケストラ・デル・マッジョ・ムジカ・レ・フィオレンティーノ)の首席ヴィオラ奏者となる。1977年ジュネーヴ国際音楽コンクールヴィオラ部門第2位入賞。以後1984年に帰国するまで、ヨーロッパ各地でソリスト及び室内楽奏者としても活躍。フィエーゾ音楽祭、ジュネーヴ音楽祭など多くの音楽祭にも招かれ、また桐五重奏団とヨーロッパツアーを行っている。1984年に帰国し、読売日本交響楽団にソロ・ヴィオリストとして入団。一方、ソリストとして、読売日本交響楽団、NHK交響楽団、東京フィルハーモニー交響楽団、札幌交響楽団、バイヤール室内管弦楽団などと共演。また、サイトウ・キネン・フェスティバル松本、霧島などの音楽祭の常連であり、サイトウ・キネン・オーケストラ、水戸室内管弦楽団のメンバーでもある。さらに、「ヴィオラ・スペース」への出演をはじめ、日本を代表するヴィオラ奏者として、室内楽やソロの分野でも幅広い活躍を展開、CDも数多くリリースしている。近年は、N響の齋藤真知亜、大宮臨太郎(ヴァイオリン) 藤森亮一(チェロ)とともに、弦楽四重奏団「ヴィルトウオーゾ・カルテット」を結成し、バルトークの弦楽四重奏曲の全曲演奏に力を注いでいる。現在、NHK交響楽団ソロ首席ヴィオラ奏者。桐朋学園大学特任教授。東京音楽大学教授。

京都市交響楽団 Kyoto Symphony Orchestra

京都市交響楽団(京響)は、1956年の創立以来、我が国を代表する日本唯一の自治体直営オーケストラとして成長を遂げてきた。最近では、京都市ジュニアオーケストラの指導、楽器講習会や音楽鑑賞教室、福祉施設への訪問演奏などにも積極的に取り組み、07年「第25回京都府文化賞特別功労賞」、「京都創造者大賞2007」受賞。08年4月からは、第12代常任指揮者に広上淳一、桂冠指揮者に大友直人が就任。09年は、「スプリング・コンサート」や「オーケストラ・ディスクアリー」など新企画で注目を集め、2010年11月には広上淳一指揮による定期演奏会のライブ録音2枚組CDを発売。半世紀という節目を経て、「京響」は今、文化芸術都市・京都にふさわしい「世界に誇れるオーケストラ」を目指して更なる前進をはかっている。

次回予告

6月24日(金)から発売!



©K.Maura

第550回定期演奏会

日本指揮界の最高峰・外山雄三の世界
～魂に響く有希 マヌエラ・ヤンケのヴァイオリンとともに～

日時: 2011年9月10日(土)午後2時30分開演

会場: 京都コンサートホール

指揮: 外山 雄三

独奏: 有希 マヌエラ・ヤンケ(ヴァイオリン)

曲目: モーツァルト: 舞踊音楽「レ・プティ・リアン」
K.Anh. 10 (299b)

シベリウス: ヴァイオリン協奏曲 二短調 op.47

ラフマニノフ: 交響的舞曲 op.45



©Shigeto Imura

入 場 料

S ¥4,500 A ¥4,000 B ¥3,500 P ¥2,000 (舞台後方席)

次回予告

7月24日(日)から発売!



©Volker Hornann

第551回定期演奏会

ソリスト生誕200年
多才なる若きマエストロ、ナビル・シェハタ登場!
～19世紀ロマン主義&民族主義の名曲選～

日時: 2011年10月21日(金)午後7時開演

会場: 京都コンサートホール

指揮: ナビル・シェハタ

曲目: リスト: 交響詩「マゼッパ」

チャイコフスキー: 幻想序曲「ロメオとジュリエット」

ドヴォルザーク: 交響曲第7番 二短調 op.70

入 場 料

S ¥4,500 A ¥4,000 B ¥3,500 P ¥2,000 (舞台後方席)